

平成
28年度

市長公約進捗状況



下地敏彦市長は平成 21 年 1 月 25 日付、第 2 代目の宮古島市長として就任し、平成 25 年 1 月より第 2 期目がスタートしています。

平成 29 年 1 月から第 3 期目がスタートしていますが、今回は、市長第 2 期目公約の最終 4 年度目にあたる平成 28 年度の取り組み内容と進捗状況を公表します。

なお、進捗状況は、公約目標年度における達成状況を示しております。
(平成 29 年 3 月末現在)

個別施策	平成 28 年度における主な取り組み内容	担当 課名	目標年度 (進捗状況)
1. 将来を見据えた沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）の効果的活用			
	・補助メニューが無くこれまで実施が困難であった事業について、沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）の効果的な活用を進めています。 ・平成 28 年度は、全天候型のスポーツ・イベント等が行えるコンベンションホールの整備を完了するとともに、その有効活用に向けた誘致活動等を推進するなど、さらなる地域振興を図る事業を実施しました。	企画調整課	H28 年度 (100%)
2. 暮らしを支える島の産業振興と雇用拡大の推進			
①島の特色を活かした観光振興			
島の自然、伝統、 創作の資源を活か した観光振興	・沖縄振興特別推進交付金を活用し、集客力のあるイベントへの参加や観光閑散期対策として冬期の集客に取り組んだ結果、入域観光客数 70 万人を達成しました。(H28 入域観光客数 703,054 人) ・サンゴ礁の保全と観光客の安全性を確保するため、オニヒトデの駆除を行いました。 (H28 年度駆除回数 35 回、駆除数 349 匹：事業費 7,213 千円)	観光課	H28 年度 (100%)
	・宮古島市史第二巻「祭祀編（上－詳細調査）」・自然編Ⅰ部の調査・編集作業を行いました。 (事業費 8,700 千円)	生涯学習 振興課	H28 年度 (95%)
農漁村体験型観光 のグリーンツーリ ズムや環境モデル 都市としてのエコ ツーリズムの推進	・エコツアーの拠点施設の整備を完了し、PR 館の入館者数も順調に推移している。(年間 1,200 人程度) 地域経済の活性化に資するため、更なる視察者等の増加、満足度の向上を図ります。	エコアイラ ンド推進課	H28 年度 (100%)
	・宮古島観光協会、さるかの里と連携し、修学旅行生（民泊）の受入を行いました。(受入件数：45 件、受入人数：9,406 人) ・離島漁業再生支援交付金事業により、漁業者、地域住民等が連携した漁家民泊等の推進体制の支援を実施するとともに、伊良部漁協地区産地協議会において「海業」推進の拠点となる施設（伊良部漁協地区海業支援施設：H29 完成予定）の利活用に関する検討を行い、6 次産業化に向けた「海業」の推進体制を強化しました。 (事業費 330,263 千円)	観光課 水産課	H28 年度 (100%) H28 年度 (100%)
観光インフラの整 備促進	・ふれあいの前浜海浜広場施設にスロープを設置し、バリアフリー化すると共に各観光施設の整備・修繕を行いました。 (施設数 5 箇所)	観光課	H28 年度 (100%)
	・沖縄振興特別推進交付金を活用し、上野野原地内に整備をした伝統工芸品センターを指定管理者による、管理運営を行いました。 (事業費 3,930 千円、来館者 3,953 人)	商工物産 交流課	H28 年度 (100%)
	・ハブクラゲによる刺傷被害を防止するため、パイナガマビーチにハブクラゲ侵入防護ネットを設置しました。(事業費 2,376 千円)	都市計画課	H28 年度 (100%)
	・上野海岸線・新里 21 号線において無電柱化事業を推進し市道 A-23 号線でバリアフリー化を継続実施しました。	道路建設課	H28 年度 (100%)

個別施策		平成 28 年度における主な取り組み内容	担当 課名	目標年度 (進捗状況)
	観光インフラの整備促進	・平成28年度における平良港（漲水地区）複合一貫輸送ターミナル改良事業を実施しました。 ・臨港道路漲水中央線道路整備工事（事業費 67,000 千円） ・埠頭用地埋立造成工事（事業費 220,000 千円） ・港湾関連用地埋立造成工事（事業費 237,000 千円） ・緑地整備工事（事業費 70,000 千円）	港湾課	H28 年度 (100%)
		・伊良部島・下地島間入江の環境保全のための入江作濬を実施するため、設計業務を委託しました。（事業費 3,000 千円）	地域づくり課	H28 年度 (85%)
②新産業の誘致並びに開発				
		・バイオエタノール事業については、バイオエタノールの高効率化製造及び残渣液等の高付加価値等に向けた検証を行い残渣液を原料とする液肥についても利用農家の増加に伴い販売量が増加した。また、E3 については、基材ガソリンの調達ができなくなったことにより、一般販売を中止することとなりましたが、エタノールの製造は可能なため、資源循環型の仕組みづくりに向け、引き続き取り組みます。 （バイオエタノール高効率製造・流通事業 73,675 千円、E3 流通事業 10,039 千円）	エコアイランド推進課	H28 年度 (100%)
		・沖縄振興特別推進交付金を活用し整備を行った農産物加工施設において、指定管理者による運営管理を行いました。規格外品を含むマンゴー等の集荷等を実施しました。 （入荷数：マンゴー 369 件、パッションフルーツ 19 件、全 388 件）	商工物産交流課	H28 年度 (100%)
③農林水産業の振興				
農水産業従事者の育成支援		・新規就農支援として新規就農者に、パイプハウス 6 棟、ブルトラ 2 台の導入に対し助成しました。 （事業費 10,136 千円）	農政課	H28 年度 (100%)
		・良質粗飼料の自給率向上、生産拡大を図る為、飼料用作物種子購入補助事業を行いました。 （事業費 3,274 千円） ・畜産の経営安定と繁殖生産基盤の拡充、強化及び肥育農家の育成を図る為、優良繁殖・肥育素牛を導入する農家に対し補助金を交付しました。 （事業費 30,200 千円） ・家畜の疾病防止の為、家畜共済加入者に対し補助金を交付しました。 （事業費 4,217 千円）	畜産課	H28 年度 (100%)
		・離島漁業再生支援交付金事業によりモズクを中心とした地域水産物の高付加価値化やシャコ貝の新規養殖業の着業に取り組むとともに、水産物普及対策支援補助金によりアーサ加工施設の洗浄設備等の改良に対する補助を実施することで、アーサ養殖の更なる増産・経営強化の推進を図りました。	水産課	H28 年度 (100%)
農水産物の商品開発及びブランド化に向けた支援の強化		【再掲】沖縄振興特別推進交付金を活用し整備を行った農産物加工施設において、指定管理者による運営管理を行いました。規格外品を含むマンゴー等の集荷等を実施しました。 （入荷数：マンゴー 369 件、パッションフルーツ 19 件、全 388 件）	商工物産交流課	H28 年度 (100%)
		・姉妹都市・友好都市の世田谷区・藤枝市等の物産展に参加し、特産品のPRを行いました。（事業費 1,962 千円）		
		・新食肉センターは、平成 28 年 4 月に完成し、格付師 2 名を配置するとともに、牛、豚、山羊のと畜を実施しています。又、食の安全衛生管理も併せて実施しました。（事業費 65,916 千円）	畜産課	H28 年度 (100%)
地産地消及び 6 次産業化の推進（学校給食・地域振興施設他）		・伊良部地区において、産地水産業強化支援事業により、未利用・低利用となっている小型のマグロ等を活用した新たな商品開発への取り組みを実施し、水産物の価値向上を図りました。	水産課	H28 年度 (100%)
		【再掲】沖縄振興特別推進交付金を活用し整備を行った農産物加工施設において、指定管理者による運営管理を行いました。規格外品を含むマンゴー等の集荷等を実施しました。 （入荷数：マンゴー 369 件、パッションフルーツ 19 件、全 388 件）	商工物産交流課	H28 年度 (100%)
		・公立保育所（10 か所）の給食等に地元の食材（とうがん、パパイヤ、ヘチマ、なんこう、ニガウリ等）を取り入れています。 （20 品目／103 品目 全体の 19.4%）	児童家庭課	H28 年度 (100%)

個別施策		平成 28 年度における主な取り組み内容	担当 課名	目標年度 (進捗状況)
	地産地消及び 6 次産業化の推進 (学校給食・地 域振興施設他)	・宮古和牛のと畜頭数が増加傾向にあり、格付実績も 4 等級以上が 84%を占めていることから、JA、各機関と連携を図りながら地産地消のPRを推進した。	畜産課	H28 年度 (100%)
		・「パヤオの日まつり」等のイベントにおいて、地域水産物の直売等の普及活動を支援するとともに、種苗放流やタッチプール体験を実施することで、市民の皆様が直接水産物に触れあえる機会を創出しました。	水産課	H28 年度 (100%)
		・学校給食で使用された地元産食材は、農水産物(冬瓜・ニガウリ・アロエ・パパイヤ・カボチャ・ピーマン・キュウリ・水菜・リーフレタス・もずく・アーサ等) 26 品目で、使用率が全体の 27.3%となっています。	学校給食 共同調理 場	H28 年度 (100%)
	貝類、藻類等養 殖事業への取り 組み強化	・沖縄振興特別推進交付金により海業センターの機能強化に向けた取水施設の整備及び環境影響等調査を実施するとともに、漁村再生交付金事業により整備したアーサ加工施設及び海ぶどう共同集出荷施設の設備を強化することで、藻類養殖の安定生産に向けた取り組みを支援しました。	水産課	H28 年度 (100%)
④ 3 漁協の体質強化に向けた統合促進				
		・H 28 年度に宮古島漁協と池間漁協が統合することで一定の合意形成ができつつありましたが、池間漁協の都合により統合推進は中断することとなりました。	水産課	H28 年度 (一%)
3. 心安らく医療福祉と安心子育て支援の推進				
①人と人、地域と地域が支え合うまちづくりの推進				
		・平成 28 年度は福祉分野のコーディネートを行うコミュニティソーシャルワーカーを 1 人から 2 人に増員し、地域における相談業務、福祉懇談会等地域との連携を密にした。また懇談会に参加し、支援のネットワーク構築に努めた。	福祉政策 課	H28 年度 (100%)
		・通いの場事業の担い手を養成するボランティア養成講座を開催しました。 (講座回数 8 回 受講者 51 名 事業費 0 千円) ・住民主体にて高齢者の集いの場として通いの場事業を実施しました。 (実施回数 316 回 延べ人数 2,598 人 事業費 1,612 千円) ・転倒骨折予防教室(ワイドー教室)を各地で実施しました。 (実施回数 60 回 延べ人数 1,323 人 事業費 2,004 千円) ・「ひらら大学」改め「長寿大学」は、平成 26 年度より開催地区を拡大し平良地区を含め旧町村 4 カ所でも実施しました。 (実施回数 406 回、延べ人数 5,273 人、事業費 4,937 千円)	高齢者支 援課	H28 年度 (100%)
②安心して子どもを産み育てる環境の充実				
		①待機児童解消対策事業(定員 250 名増) ・認可外保育園「つくし保育園」の認可化による創設(ていだの子保育園/定員 70 名) ・認可外保育園「未来保育園」の認可化による創設(こくふくこ保育園/定員 75 名) ・認可外保育園「福寿保育園」の認可化による創設(福寿保育園/定員 80 名) ・認可保育園「ふたば保育園」の保育室増設(5 才児保育室/定員 20 名) ・家庭的保育事業による新設(ひまわり家庭保育ルーム/定員 5 名) ②若い世代の子育て支援事業(公立・法人) ・中学生以下の子どもが 4 人以上いる世帯を対象に保育料を無料としました。 (事業費 32,244 千円 対象 258 名) ・民間では困難な障がい保育や病児・病後児保育など特化した保育を実施しました。 ③子ども医療費助成事業(事業費 80,504 千円 延べ 22,155 件) ④児童扶養手当支給事業(事業費 502,210 千円 延べ 3,074 件) ⑤母子及び父子家庭医療費助成事業(事業費 17,923 千円 延べ 1,418 件)	児童家庭 課	H28 年度 (100%)
		・妊婦健診事業(受診率 83%、事業費 47,423 千円) ・こんにちは赤ちゃん事業(訪問実施率 98.8% 事業費 4,851 千円) ・乳幼児健康診査事業(乳児 92.1%、1.6 歳児 97.0%、3 歳児 98.4%、事業費 12,841 千円) ・予防接種(事業費 137,747 千円)	健康増進 課	H28 年度 (100%)
③エイジレスライフの推進を図り、高齢者が元気なまちづくり				
		・単位老人クラブへ活動補助金とは別枠で介護予防事業補助金として 1 団体あたり 12,000 円を交付し友愛活動を実施しました。(老人クラブ団体 83 団体、会員数: 3,813 人、事業費: 5,540 千円【活動補助金 4,544 千円、介護予防補助金 996 千円】) ・単位老人クラブへの支援活動している宮古島老人クラブ連合会へ活動運営補助金として 3,168 千円、友愛見守り活動補助金として 1,800 千円を交付しました。	高齢者支 援課	H28 年度 (100%)

	個別施策	平成 28 年度における主な取り組み内容	担当 課名	目標年度 (進捗状況)
	④障がい者が積極的に社会参加できる環境づくりの推進			
		・難病患者等において、新たに 1 名の方が障がい福祉サービスを利用しました。 ・長期入院患者においては 2 名の方がグループホームに入所し、日中活動支援事業所にも通え、地域に移行できました。 ・基幹相談支援センターに社会福祉士、保健師、心理士、手話通訳士、作業療法士など専門職を配置し、多様な相談に応じています。	障がい福祉課	H28 年度 (100%)
4. 島の将来を支える人材育成の推進				
	①学校教育の充実			
	教育環境の整備	・狩俣小学校屋内運動場建築事業 (事業費 169,402 千円) ・鏡原小学校校舎増築事業 (事業費 168,235 千円) ・小学校・中学校空調整備事業 (特別教室) (事業費 37,512 千円)	教育総務課	H28 年度 (100%)
		① [伊良部島小学校・中学校 (愛称：結の橋学園)] ・学校建設基本計画の策定。 ・校草原画の決定。 ・校歌作詞者の選定。 ・制服に関するアンケートの実施。 ② [城辺地区中学校統合] ・城辺地区中学校統合に関する保護者アンケートの実施。 ・城辺地区中学校統合計画策定委員会の設置及び開催。 ③ [通学補助] ・来間地区下地中学校生徒送迎委託業務 (456 千円) ・鏡原小学校児童送迎委託業務 (1,946 千円)	学校規模 適正化対 策班	H28 年度 (100%)
	教職員の研修体制 を進め、資質の向 上を図る	・宮古教育事務所と連携した学校支援訪問を全小中学校で実施 ・研究指定校の訪問・支援 (南小、平良中) ・校内研修会、公開授業における学校訪問 ・魅力ある学校づくり推進事業の推進 (事業費 7,382 千円) ・琉球大学教育学部との連携事業の実施 (15 回) ・秋田県人事交流事業派遣教諭活用研修会の実施 ・研究指定校による研究報告会の実施	学校教育課	H28 年度 (100%)
	②生涯学習の充実			
	情操教育の推進	・宮古教育事務所との連携による教育相談、生徒指導に関する全学校訪問の実施 ・宮古教育事務所との連携による研修会 1) 道徳教育関連研修会 2) 生徒指導主任研修会等	学校教育課	H28 年度 (100%)
		・放課後子ども推進事業 (789 千円) 【教室開催延べ 196 回、児童参加延べ 5,167 人】 ・学校支援地域本部事業 (3,374 千円)	生涯学習 振興課	H28 年度 (100%)
	各種講座の充実	①主催事業 ・やさしい中国語会話 (10 回：延べ 133 人) ・速読入門 (10 回：延べ 120 人) ・親子ほっかほかパン作り教室 (17 人) ・自立準備講座～これであなたもひとり立ち (7 人) ・一緒に笑ってラフターヨガ (5 回：延べ 77 人) ②ゆいみなあフェスタ (400 人)	働く女性 の家	H28 年度 (100%)
		・移動図書館ステーションは、各小・中学校、各施設、幼稚園等を約 30ヶ所年間 300 回巡回訪問し、利用拡充に努めました。 ・図書館内では七夕集会、納涼祭、出張おはなし会等の行事で図書館サービスの啓蒙を図りました。 ・宮古の文化と歴史について市民に広く関心を深めて頂くために、郷土資料を用いた各種講座を開催しました。	図書館	H28 年度 (100%)
		①公民館講座 ・中央公民館 18 講座、延べ人数 1,680 人が受講 (事業費：744 千円) ・城辺公民館 13 講座、延べ人数 774 人が受講 (事業費：594 千円) ・上野公民館 16 講座、延べ人数 864 人が受講 (事業費：528 千円) ・下地公民館 18 講座、延べ人数 1,335 人が受講 (事業費：558 千円) ・伊良部公民館 7 講座、延べ人数 708 人が受講 (事業費：330 千円)	公民館	H28 年度 (75%)

個別施策		平成 28 年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
各種講座の充実		・久松地区公民館 9 講座、延べ人数 620 人が受講 (事業費:300 千円) ・下崎地区公民館 9 講座、延べ人数 765 人が受講 (事業費:300 千円) ・西原地区公民館 8 講座、延べ人数 721 人が受講 (事業費:300 千円) - 合計 98 講座、延べ 7,467 人受講 (事業費計:3,654 千円)	公民館	H28 年度 (100%)
		②その他 ・生涯学習フェスティバル事業 (中央公民館) (160 千円) ・博愛の日展示事業 (上野公民館) (100 千円) ・白川町海山交流事業 (下地公民館) (617 千円) ・台湾国際交流事業 (下地公民館) (546 千円) ・板倉町交流事業補助金等 (754 千円)		
		①企画展・特別展示等を開催し、関連行事として戦跡巡りや講演会を行いました。 ・企画展 2 回 (関連行事 2 回) ・特別展示 1 回 (関連行事 2 回) ②小学校高学年を対象に「子ども博物館」を実施しました。(全 6 回) ③博物館講座を開催しました。(講演会 2 回、野外観察 1 回)	総合博物館	H28 年度 (100%)
		①音楽やダンスパフォーマンスなどに真摯に取り組んでいる高校生に発表の場を提供し、「創造する喜び、達成感・連帯感」を育む事を目的に「マティダライブ 9」の開催した。 (出演者 70 人 / ボランティア 20 人 / 入場者数 500 人) ②「生きる力」を育むことを目的に、学習指導要領に取り入れられている現代的なリズムのダンスを通して、学生による新しい地域文化の創造、交流、仲間との一体感を育むことを目的に、「マティダストリートダンス」を開催した。(県内 4 高校参加 観客数 300 人) ③宮古方言の伝承、宮古島市民の「ブガリノース」を目的として、市民からニーズの多かった喜劇「第 2 回マティダお笑い劇場」を開催した。 (出演者 15 人、入場者数 1,200 人 (2 回公演))	文化ホール	H28 年度 (100%)
		③芸術文化の振興		
		・宮古島市市民文化祭を開催しました。(事業費 1,181 千円) ・文化協会活動に対し補助金を交付しました。(事業費 2,460 千円)	生涯学習振興課	H28 年度 (100%)
		・こどもの個性、表現力を伸ばし、成長を助ける活動を行っている「劇団かなやらび」に対し「宮古島市こども劇団補助事業」として補助金を交付して支援しました。(事業費 1,378 千円)	文化ホール	H28 年度 (100%)
5. 新たな都市・交通・生活基盤の整備				
		①都市計画の推進		
		・「宮古島市バリアフリー構想」について、障がい者団体、交通機関、商店街を交えた意見公開会を行い、情報の収集を行いました。	都市計画課	H28 年度 (100%)
		②道路環境・交通ネットワークの整備		
		・市内バス会社三社、宮古運輸事務所、県、市で連絡会を開催し、利便性の向上について意見交換を行った。	商工物産交流課	H28 年度 (100%)
		大道線及び大原線道路改築事業を進めました。 ・収用明渡裁決申立業務 (事業費 2,700 千円) ・公有財産購入 3 件 (事業費 8,764 千円) ・物件移転補償 7 件 (事業費 94,345 千円)	都市計画課	H28 年度 (100%)
		平成 28 年度は以下の事業を実施しました。 ・下崎～西原線 (道路改良:110m)・添道 1 号線 (道路改良:800m) ・A-76 号線 (道路改良:50m)・富名腰 12 号線 (実施設計) ・松原 32 号線 (実施設計)・棚根線 (実施設計)・松原 1 号線 (道路改良:454m)	道路建設課	H28 年度 (100%)
		③災害に強い島づくりの推進		
	平良港の耐震化・ 電線地中化(無電柱化)・ 防災塔の整備・ 水道施設の耐震化	・上野海岸線、新里 21 号線において無電柱化事業を実施しました。(事業費 124,000 千円)	道路建設課	H28 年度 (100%)

個別施策		平成 28 年度における主な取り組み内容	担当 課名	目標年度 (進捗状況)
③災害に強い島づくりの推進				
平良港の耐震化・ 電線地中化(無電柱 化)・防災塔の整備・ 水道施設の耐震化	【再掲】平成 28 年度における平良港(漲水地区)複合一貫輸送ターミナル改良事業を実施しました。 ・臨港道路漲水中央線道路整備工事 (事業費 67,000 千円) ・埠頭用地埋立造成工事 (事業費 220,000 千円) ・港湾関連用地埋立造成工事 (事業費 237,000 千円) ・緑地整備工事 (事業費 70,000 千円)	港湾課	H28 年度 (100%)	
	・老朽管の更新及び需要水量に対応するための配水管工事を実施しました。(事業費 175,800 千円)	工務課	H28 年度 (100%)	
6. 市民協働の自然・環境と共生する島づくり				
①市民参加のまちづくりの推進				
①地域づくり支援事業(企画業務委託事業) (事業費 2,344 千円) ②地域活性化モデル地区支援事業(狩俣地区) (事業費 1,000 千円) ③宮古島市地域づくり支援事業(公募型) (事業費 2,657 千円) ④コミュニティセンター助成事業 ・長間・松原自治会公民館建設事業 (事業費 40,000 千円)		まちづくり 振興班	H28 年度 (100%)	
②エコアイランドの推進				
・エコアイランド宮古島の推進に関する条例に基づき、策定されたエコアイランド宮古島推進基本計画を、市民や事業者、団体等と横断的に連携して推進しました。実施計画については、毎年度見直ししながら進めていきます		エコアイ ランド推 進課	H28 年度 (100%)	
・剪定枝、家畜糞尿、生ゴミ等の堆肥化のための発酵槽の増設により、土壌改良及び農産物の品質向上を達成するため、安定的な堆肥製造を行うことができました。		農村整備 課	H28 年度 (100%)	
③花と緑の島づくりの推進				
・森林環境保全直接支援事業 (事業費 107,982 千円) ・特定森林造成事業 (事業費 5,888 千円) ・苗木生産及び販売 (販売数 27,058 本)		みどり推 進課	H28 年度 (100%)	
・観光アクセス道路環境美化強化事業として、道路の美化環境を図るため 33 路線の街路樹の剪定や雑草の除去など維持管理に取り組みました。(事業費 29,151 千円)		道路建設 課	H28 年度 (100%)	
④与那覇湾、八重干瀬、池間湿原等、貴重な自然資源の保全及び活用の推進				
・八重干瀬等珊瑚礁の保全については、平成 24 年度からオニヒトデの駆除を継続して実施しており、平成 28 年度も実施しました。 (H28 年度駆除回数 35 回、駆除数 349 匹 / 事業費 7,213 千円)		観光課	H28 年度 (100%)	
・平成 24 年にラムサール条約に登録された与那覇湾について、豊かな干潟生態系の保全、再生や周辺環境の利活用による「交流・学習」の推進に向け、基本計画に基づく与那覇湾環境総合整備事業として遊歩道及び自然観察施設の設計委託及び工事施工を行いました。(事業費 15,730 千円)		環境衛生 課	H28 年度 (15%)	
⑤地下水の保全活動の推進				
・地下水保全対策として地下水モニタリングを実施し、水質結果をとりまとめた「平成 28 年度宮古島市地下水水質モニタリング調査報告書」を刊行しました。 ・地下水採取のための掘削許可及び地下水採取許可証の交付を 5 件行いました。 (事業費 6,068 千円)		環境衛生 課	H28 年度 (100%)	
水道水源保全地域において、地下水保全条例第 3 条に規定される対象事業に対しては事前に協議し、地下水審議会を実施しました。		水道総務 課	H28 年度 (100%)	
7. 伊良部大橋供用開始に伴う伊良部地区の活性化				
①下地島空港及び周辺残地の有効活用の促進				
・沖縄県は下地島空港及び周辺用地の利活用促進に向け、利活用事業の提案募集から 4 つの候補事業を選定しており、その中から、平成 29 年 3 月 8 日において 2 事業者と利活用に関する基本合意書を締結し、利活用に関する具体的な取組を進める実施計画を策定しています。 ・平成 28 年度において、市としては、候補事業の実現に向けた各種調整を進めるとともに、実施計画推進にあたっての役割分担について、確認・協議を行いました。 ・今後も県や実施事業者と連携し、実施計画に掲げられる利活用の実現を図ります。		企画調整 課局	H28 年度 (100%)	

個別施策		平成 28 年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
		・耕作者と利用権設定による賃貸借契約を結ぶとともに、県、市及び関係機関で「下地島地区連絡協議会」を設置し、農業基盤整備事業の採択に向けて取り組んでいる。 (利用権設定 44 件、賃貸金額 2,464 千円)	農政課	H28 年度 (100%)
8. 歴史・文化再発見・整備の促進				
①歴史・文化ロードの整備				
各地区（旧市町村） の史跡の整備	・綾道マップ「伊良部地区」作成 ・文化財清掃及び来間島の石段復元 ・映像コンテンツ作成（5 件） ・説明板作成費（8 カ所）	（事業費 2,686 千円） （事業費 17,370 千円） （事業費 8,683 千円） （事業費 1,680 千円）	生涯学習 振興課	H28 年度 (100%)
9. スポーツアイランド構想の実現				
①市民スポーツの環境整備の推進				
・全日本トライアスロン宮古島大会、宮古島 100 km ワイドーマラソン、ツール・ド・宮古島、エコアイランド宮古島マラソン等を開催しました。（事業費 12,921 千円、参加者計 5,938 名）			商工物産 交流課	H28 年度 (100%)
・体育施設の指定管理に向けた条例・規則に基づいて、今後の指定管理業務導入へ向け取り組みを開始しました。			市民スポ ーツ課	H28 年度 (80%)
②県営広域公園（運動公園）の誘致				
・沖縄県は、「海と浜辺を生かした広域公園」として前浜地区に整備を決定し、平成 29 年 2 月に基本計画の策定をはじめ、環境影響評価の方法書作成や現地調査に取り組んでいます。市としては、引き続き早期採択に向けて、県との調整を図っていきます。			都市計画 課	H28 年度 (100%)
③トップアスリートのキャンプ誘致				
・平成 27 年 12 月 4 日に宮古島市スポーツコンベンション推進協議会を立ち上げ、今年度も各種競技のキャンプ誘致へ向けた取り組みを継続している。			商工物産 交流課	H28 年度 (100%)
・施設の環境整備（2,900 千円）及び芝管理業務（1,910 千円）を行いました。			市民スポ ーツ課	H28 年度 (100%)
10. 中・長期的な視点に立ったビッグプロジェクトの推進				
①市総合庁舎の建設計画の推進				
・基本構想・基本計画策定に着手しました。		（事業費 22,680 千円）	振興開発 プロジェ クト局	H28 年度 (30%)
②総合社会福祉センター（仮称）建設計画の検討				
・保健センターを総合庁舎へ併設することで引き続き検討を行います。			振興開発 プロジェ クト局	H28 年度 (50%)
③天然ガスの開発				
・天然ガスについては、沖縄県が県内 3 カ所（那覇市、南城市、宮古島市）で実施しており、城辺ばり鉱山を含む 3 試掘井の事業化に向けた県検討委員会が開催され、検討を進めてきました。 ・H28 年度において、本市独自の取組として、城辺ばり鉱山の生産調査及び環境影響調査を行っており、その結果から宮古島市天然ガス資源利活用実施計画書を策定しました。 (事業費：34,987 千円)			エコアイ ランド推 進課	H28 年度 (100%)
④コンベンションホール（スポーツ観光交流施設）の建設				
【平成 29 年 3 月に施設が完成しました。】 ・施設建設工事【建築、電気設備、機械設備、外構】 ・施設建設工事監理委託・現場技術業務 ・進入路用地購入 ・進入路整備工事		（事業費 2,368,226 千円） （事業費 33,024 千円） （事業費 2,915 千円） （事業費 140,290 千円）	振興開発 プロジェ クト局	H28 年度 (100%)
⑤図書館及び中央公民館の建設				
【平成 30 年度完成に向け建設工事に着手しました】 ・磁気探査委託業務（事業費 4,644 千円） ・建設工事（事業費 3,766,608 千円） ・工事監理業務委託（事業費 57,956 千円）			振興開発 プロジェ クト局	H28 年度 (75%)

第2期目に掲げた公約の実現に向け、鋭意取り組んでまいりました。

計画の中には1期目から引き続き複数年かけて実施する事業もありましたが、目標は概ね達成できたと思っています。

3期目は、昨年度末に策定した第2次宮古島市総合計画と同時スタートとなっており、これまでの市長公約推進計画の進捗状況に代えて、総合計画で掲げた目標達成の検証作業の中で進捗状況を公表し、1・2期目で行ってきた事業と3期目で新たに取り組む事業により、さらなる飛躍につなげたいと考えております。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

宮古島市長 下地 敏彦

【お問い合わせ】各担当課又は企画調整課まで ☎ 72-3751(代)